

当面、閣議決定による6月実施を内金として年内に支給されたい。

- ② 中位等級者の賃金引き上げを年内に解決し、支給実現されたい。さらにいっせいに一号増を実施されたい。
- ③ 2等級から1等級へのワタリ昇給を実施されたい。
- ④ 通勤手当実費支給のための予算措置を講ぜられたい。
- ⑤ 産後休暇2週間の延長については、年内に解決されたい。また、そのための補助教員を完全に確保されたい。
- ⑥ 教育研究の自由を保障されたい。
- ⑦ 宿日直全廃指導通達をだすとともに、当面12月25日から1月7日までの冬季休業中の宿日直全廃と、土、日曜、休日の全廃を実施されたい。
- ⑧ 4・2最高裁判決の趣旨にしたがい、勤評闘争以降の諸不当処分を撤回されたい。

(注) 昭和44年12月19日午後1時より3時まで、県教組特殊教育部による「心身障害児教育振興に関する要求書」に基づき、部長、県教組山口剛氏、県立高教組執行委員長佐藤 正氏外6名と、県教委総務課主幹渡辺政三氏外4名と話し合いをおこなう。

- 12 昭和45年1月31日 午前10時30～12時30分
福島県教職員組合 教育次長室
教育庁総務課長、同主幹、義務教育課主任管理主事外2名
県教組中央執行委員長 齋 藤 峯 夫氏外 6名

○ 交渉内容

- ① 教育予算関係
- ② 教職員定数(年度末人事)
- ③ 宿日直関係
- ④ 賃金問題
- ⑤ 11. 13の参加者等について

- 13 昭和45年2月12日(休) 午後1時30分～午後5時
福島県教職員組合連合会 教育委員会室
県教育長、次長、総務課長、関係課長、主幹、担当者17名
県教組委員長、県立高教組委員長、本部、各支部交渉団49名

○ 交渉内容

- 11. 13公務員統一行動参加者、宿日直拒否者に対する処分の廃回についての交渉
- ① 11. 13スト参加者の処分基準について
- ② スト参加者の内申について
- ③ 宿日直拒否者の処分および内申について
- ※宿日直についての支部段階の地教委交渉について再度、調査してほしい旨、組合よりつよい要望があり、県教委は、問題があるかどうか再調査をすることにした。(方法その他 略)

第11章 表彰者

11月3日、文化の日の佳節、昭和44年度教育文化関係表彰式ならびに永年勤続教職員表彰式が県営体育館で厳粛のうちにも盛大に行なわれた。
表彰者はつぎのとおりである。

表 彰 者

文化功労賞

第18回福島県文化功労賞(2名)

伊達郡伊達町南堀13 三本杉 巳代治
会津若松市宮町1番1号 穴 沢 養 一

教育行政関係

地方教育行政功労者(6名)

本宮町教育委員会委員長 本 多 義次郎
下郷町教育委員会委員長 星 吉 一
郡山市教育委員会教育委員 滝 沢 実 巖
鮫川村教育委員会教育長 水 野 義 包
原町市教育委員会教育長 林 正
梁川町教育委員会教育長 齋 藤 一 男

学校教育関係

教育功労者(20名)

福島市立福島第二小学校長 小 野 丑 藏
福島市立三河台小学校長 阿 曾 佐 重
福島市立福島第二中学校長 瀬 戸 春 雄
郡山市立薫小学校長 渡 辺 勇
須賀川市立第三中学校長 伊 東 勲
白河市立白河第二小学校長 根 本 芳之助
会津坂下町立第一中学校長 吉 田 千 秋
喜多方市立第三中学校長 武 藤 由 秋
猪苗代町立猪苗代中学校長 佐 藤 勝
田島町立田島小学校長 伊 藤 弥 吉
相馬市立中村第一小学校長 佐 藤 義 雄
相馬市立中村第一中学校長 安 良 恒 三
いわき市立小名浜第二小学校長 小 林 正 人
いわき市立平第一中学校長 西 恭 三
双葉郡広野町立広野小学校校務職員 新 妻 智
県立福島商業高等学校長 津 田 悌 健
県立須賀川高等学校長 慶 徳 健
県立会津女子高等学校長 小 林 貞 治
県立磐城女子高等学校長 酒 井 忍
県立磐城高等学校事務長 柏 原 正 一

社会教育関係

1 社会教育功労者(2名)

三春町文化団体連絡協議会長 川 又 恒 一
いわき市立小名浜公民館長 吉 田 幸

2 優良公民館(2館)

白河市中央公民館館長 芦 野 利 貞
新地村公民館館長 吉 村 光 男

3 優良青年団体(2団体)

いわき市田人青年会会長 小 峯 忍
大玉青年会 会長 角 田 藤 和

4 優良婦人団体(2団体)

梁川町梁川婦人会 会長 八 卷 豊 子
大越町上大越婦人会 会長 白 石 ケサヨ

5 優良文化団体(1団体)

会津ペンクラブ 会長 鈴 村 満

6 優良PTA(4団体)

郡山市立日和田小学校父母と教師の会会長 田 中 親 一
会津若松市立城北小学校父母と教師の会